

# 不動ヶ岡太田遺跡



不動ヶ岡太田遺跡はJR成田駅・京成成田駅から直線距離で約700mにある遺跡です。現在では成田市の中心地となっているこの一帯は、古代においても人々が多く住む場所であったと考えられています。今回の発掘調査でも、人々が住んでいたと考えられる竪穴住居跡を検出し、当時の暮らしを垣間見ることのできる貴重な発見となりました。



古代の建物は、竪穴住居だけではなく、柱を立てて、地面より高い位置に床面をつくる、掘立柱建物と呼ばれる建物がありました。今回発掘した遺構は、掘立柱建物跡の周りにさらに柱をめぐらせた、四面庇付掘立柱建物跡という珍しいものになります。これは寺院建築と考えられるものであり、古代の仏教信仰を考えるうえで非常に貴重なものです。



1号住居跡から仏鉢と呼ばれる土器が出土しました。仏鉢とは、仏教において食料や花などを供物としてささげるために用いられる器のことで、この住居が仏教に関連する施設であったという証拠となります。

## 遺跡発表会 タイムテーブル

12:30

開場

13:00

開会

13:10~14:10

基調報告

「不動ヶ岡太田遺跡—不動の地に建つ古代の寺院—」

(公財) 印旛・柏文化財センター 主任調査研究員 山田喜義

休憩

14:25~15:45

講演

「古代印旛の有力首長の本拠地を探る—印旛郡長隈郷の特性を中心に—」

(公財) 千葉県教育振興財団文化財センター長 木原高弘

16:00

閉会